

平成29年度事務事業評価 平成30年度以降開始事業事前評価一覧

No.	事業名	属性		担当部署	事業概要	実施年度		事業費（千円）			審査会評価
		マニフェスト	復興計画			開始	終了	H30 (見込)	H31 (見込)	H32 (見込)	
102	電話交換業務の民間委託 (第8次宇土市行財政改革大綱の推進)			総務部 総務課	電話交換業務は、多岐にわたる市の業務内容を把握した上で、それぞれの問合せ案件に合った担当部署への取次ぎ等の対応が求められるため、民間企業の接遇等における高いノウハウを活用して効率的・効果的で質の高い行政サービスの向上を図るため。	H30	未定	7,129	7,129	7,129	第8次宇土市行財政改革大綱に掲げている「民間活力の積極的な導入」に資すると思われる。 事業を進めるに当たっては、費用対効果や改善効果などの検証を行い、他の業務の民間委託導入の参考となるようにしていただきたい。
103	公文書電子化等業務委託		○	総務部 総務課	公文書の管理については、市文書管理条例等に基づき、適正に管理しているが、平成28年熊本地震等からの復旧復興関連事務の発生に伴い、公文書の量が著しく増加している。そして、その公文書の保管は、主に第一書庫及び第二書庫にて行っているが、いずれもその容量に限界が生じている。そこで、30年保存文書の電子化等（PDF化及びマイクロフィルム化のいずれか又は双方をいう。以下同じ。）を行い、この問題を解決するものとする。	H30	未定	未定	未定	未定	宇土市震災復興計画（第1期）でも、紙管理の台帳（文書等）の電子データ管理推進を掲げており、保存スペース確保の視点に加え、危機管理の視点からも30年保存文書に限らず既存建築物の図面等のデータ管理についても進めていく必要がある。 他団体の状況や、本市が所有している文書の量や質を調査した上で、効果的に実施していただきたい。
107	市制施行60周年記念 消防団旗購入事業			総務部 危機管理課	現在、使用している「宇土市消防団」の団旗について、経年劣化により痛みが多くみられるため、市制施行60周年を迎える平成30年度を機に新しい団旗に買い替える。	H30	H30	2,000	0	0	団旗については、消防団のシンボルとして式典等でも使用されるため、きれいな状態で維持できるように管理・保存には気を付けていただきたい。 また、買い替える際の負担について、関係者との協議を行い、検討していただきたい。
116	島山防災広場等整備事業			総務部 危機管理課	地震災害発生時における第1次避難場所に指定している島山に防災広場とアクセス道路を整備する。 ・防災広場（駐車スペース・照明・トイレ等の整備） ・アクセス道路	H30	未定	未定	未定	未定	防災広場、避難道路については、防災対策に必要であるため、整備に向けた検討をお願いしたい。 整備に当たっては、有利な財源が利用できるよう努めていただくと同時に、平常時の広場活用方法についても関係各課と検討を進めていただきたい。
316	高齢者安全運転装置改良取付補助事業			市民環境部 環境交通課	高齢者の交通事故防止のため、自動車の誤運転を防ぐ器具の設置に補助を行う (ここで示す器具は、衝突被害軽減ブレーキなどではなく、ワンペダルなどの踏み間違い事故を防止するような器具を想定)	H30	未定	550	550	550	高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いによる交通事故は全国的に問題となっており、行政として対応できる内容については取り組んでいただきたい。 一度補助制度を導入すると、すぐに廃止することは難しいため、他団体の状況や器具の有効性の再確認、市内でのニーズなど、導入に当たっては再度分析をお願いしたい。
515	竹炭地域活性化事業	○		経済部 農林水産課	住吉漁協、網田漁協を中心に、竹炭地域活性化協議会（仮称）を設立し、ノリ養殖で逼迫した問題であるノリ竹活用について協議する。また、ノリ竹の有効活用を図るため、竹炭加工施設を整備し竹炭及び竹酢液を製作することで商品開発及び雇用創出を図る。また、竹炭に微生物を付着させた生物竹炭を活用し、水質浄化作用及びアサリ貝等の資源回復の実証実験を行う。	H30	H32	6,000	2,000	2,000	事業実施に当たっては、協議会と市の役割を明確化した上で、事業内容を詰めていただきたい。 また、平成30年度の施設整備後も市の事業費が見込まれているが、協議会事業が市補助前提の事業設計であるならば、事業内容の見直しをお願いしたい。

No.	事業名	属性		担当部署	事業概要	実施年度		事業費（千円）			審査会評価
		マニフェスト	復興計画			開始	終了	H30 (見込)	H31 (見込)	H32 (見込)	
536	店舗改装・新規開業支援助成事業	○		経済部 商工観光課	例年国の3月補正予算で事業者を対象とした創業支援補助金が創設されている。ただ、申請期間が短いため、事業者の活用が少ない現状にある。 新規開業など、事業者にとっては有意義な内容であるため、商工会と連携しながら幅広く周知を行っていく。	H30	未定	20,000	30,000	40,000	申請期間が短いことから、事前準備がないと活用は難しいが、例年創設されているのであれば、事前に検討・準備が行えると思われる。 国・県から適時情報収集を行い、制度活用に向け取り組んでいただきたい。
539	立岡自然公園 駐車場整備事業			経済部 商工観光課	立岡自然公園においては、スポーツイベントや桜開花時期になると、多くの来訪者で賑わい、恒常的に駐車場の台数が不足している。駐車場が満車の際には、宇土ありあけ保育園の駐車場を臨時駐車場として借用しているものの、駐車場不足の解決にはなっておらず、路上駐車により宇城署からの指導もあつていす。 そのような状況もあり、現駐車場部分の拡張整備を行いたい。	H30	H30	31,090	0	0	スポーツイベントや花見時期の駐車場不足は近隣の迷惑になっている点もあり、対策は必要であるが、自然公園の樹木を伐採し駐車像を拡張することが適当か慎重に検討した上で実施していただきたい。
540	宇土市商店街にぎわいづくり補助事業	○		経済部 商工観光課	買い物や地域コミュニティの形成となる場としての商店街において、商店街や地域のにぎわいを創出するようなまちづくりと一体となった取組みを支援するために補助を行うもの。 市が事業者に補助を行い、市の補助額（支出額）の1/2については、県の「商店街にぎわいづくり補助事業（補助金）」を財源として充てることとする。（県の補助事業の採択を受けることを、市の採択条件とする。）	H30	未定	7,000	8,000	9,000	宇土市の復興のためには、商店街や地域のにぎわいを創出することが必要であるため、事業者のニーズも把握しながら事業を実施していただきたい。
614	公共施設等適正管理事業			建設部 土木課	宇土市管理路線の中で劣化が著しく、車両通行もしくは沿道環境に支障をきたしている路線の抽出を行い、舗装補修工事を行う。路線の選定においては路面性状調査等結果等を踏まえて優先順位の設定を行う	H30	未定	25,000	25,000	25,000	対象箇所の抽出及び必要性の検証を行い、効果的な補修工事を実施していただきたい。
629	既存図面データ化事業（建築一般経費）	○		建設部 都市整備課	平成28年度熊本地震での被災状況も踏まえ、既存建築物の図面のデジタル化を行いクラウド内に保存することで建物財産の保存を行うもの。第2原図及び青焼き製本をPDF変換するもの。（市長部局保管図面のみ。教育委員会保管図面は除く。）	H30	未定	9,222	0	0	宇土市震災復興計画（第1期）でも、紙管理の台帳（文書等）の電子データ管理推進を掲げており、危機管理面からデータ管理について進めていく必要がある。 紙の図面と電子データの位置付けや、図面以外の文書の取り扱いについても、関係課（総務課等）と連携し検討していただきたい。
718	幼稚園空調設備整備事業			教育部 学校教育課	保育室に空調設備を導入することにより、快適な室内空間を提供する。	H30	H30	37,800	0	0	保育室の環境を快適に保つことは、最低限求められる部分であるため、早急な整備をお願いしたい。
724	市制施行60周年記念 大相撲巡業事業			教育部 生涯活動推進課	市制施行60周年を記念して大相撲九州場所後の九州巡業において宇土市で大相撲巡業を実施する。 実施にあたって50周年時同様に実行員会（補助金）により開催するのか、業務委託するのか未定。	H30	H30	3,000	0	0	実施方法について今後検討されると思うが、実施に当たっては来訪者数等を目標として定め、事業が効果的に実施できるよう努めていただきたい。

No.	事業名	属性		担当部署	事業概要	実施年度		事業費（千円）			審査会評価		
		マニフェスト	復興計画			開始	終了	H30 (見込)	H31 (見込)	H32 (見込)			
725	第74回熊本県民体育祭宇城地域大会			教育部生涯活動推進課	県内郡市持ち回りで開催されている県内最大のスポーツイベントである熊本県民体育祭が平成31年度に第74回大会として宇城地域で開催される。	H30	H31	12,000	22,000		0	指標の設定が難しい事業ではあるが、来訪者数等を目標として定め、事業が効果的に実施できるよう努めていただきたい。	
742	天神山古墳保存整備事業		○	教育部文化課	平成28年4月の熊本地震及び同年6月の豪雨災害により、墳丘の一部が崩落し、現在もさらなる崩落の危険にさらされている市指定史跡「天神山古墳」について、史跡の保護と古墳の周囲に住む市民の生命・財産の保護というふたつの観点から古墳の復旧や防災工事等を行う。	H30	H34	24,000	2,000	2,500		近隣住民の生命・財産を保護するといった観点から、早急に対策を行っていただきたい。 史跡保護の観点からは、活用方法も視野に入れて整備方針を決定していただきたい。	
743	宇土市民会館大ホール天井耐震化事業		○	教育部文化課	平成23年3月に発生した東日本大震災では、体育館や劇場、商業施設等の大規模空間を有する建築物のうち、比較的新しいものも含めて天井（非構造部材）が脱落する被害が生じ、死傷者を出した施設もあった。宇土市民会館大ホールの天井も非構造部材であるが、既存不適格の状態で使用しているのが現状である。 平成28年熊本地震では幸いにも天井は落下しなかったが、年間利用者が5万人を超える施設であり、来館者の安全確保のために耐震天井への改修が必要である。	H30	H31	30,000	304,000			0	来館者の安全を確保するため早急に実施していただきたい。 実施に当たっては、有利な財源がないかなど検討し、効果的に実施するようお願いしたい。